



令和5年度 第1回川崎地域 地域医療構想調整会議
資料3

公立病院経営強化プランの策定に係る
地域医療構想との整合性について

令和5年 8月28日

2023年度第1回川崎地域地域医療構想調整会議

本資料では、

- 1 経緯**
- 2 地域医療構想等との整合性の視点**
- 3 該当公立病院の経営強化プランについて**
- 4 今後のスケジュール**

について、ご説明いたします。

1 経緯

- 病院事業を設置している地方公共団体においては、「新公立病院改革ガイドライン」（平成27年3月31日付け総務省自治財政局長通知）を踏まえ、新公立病院改革プランを策定し、病院事業経営改革に取り組んでいただいていたところ。
- 今般、「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」（令和4年3月29日付け総務省自治財政局長通知）が策定され、その中で、
“市町村等が経営強化プランを策定するに当たり、策定段階から地域医療構想調整会議の意見を聴く機会を設けることなど通じて地域医療構想等との整合性を確認する”
などの記載があることから、令和4年度第3回又は令和5年度第1回の本会議において、協議を行うこととさせていただく。

1 経緯（具体的対応方針との関係性）

- 経営強化プランは、「地域医療構想の進め方について」（令和4年3月24日付け厚生労働省医政局長通知）により、当該公立病院の地域医療構想に係る具体的対応方針として位置付けることとされていることも踏まえ、地域医療構想と整合的であることが求められる。
- そのため、現行の公的医療機関等2025プラン等と比較いただきつつ、各地域で議論いただくこととしてはどうか。

【参考】ガイドラインの概要

令和4年4月20日開催公立病院経営強化ガイドライン等に関する説明会 資料1 抜粋

第1 公立病院経営強化の必要性

- 公立病院は、これまで**再編・ネットワーク化、経営形態の見直し**などに取り組んできたが、**医師・看護師等の不足**、人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化等により、依然として、**持続可能な経営を確保しきれない病院も多いのが実態**。
- また、コロナ対応に公立病院が中核的な役割を果たし、**感染症拡大時の対応における公立病院の果たす役割**の重要性が改めて認識されるとともに、病院間の役割分担の明確化・最適化や医師・看護師等の確保などの取組を平時から進めておく必要性が浮き彫りとなった。
- 今後、**医師の時間外労働規制への対応**も迫られるなど、さらに厳しい状況が見込まれる。
- 持続可能な地域医療提供体制を確保するため、**限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用する**という視点を最も重視し、新興感染症の感染拡大時等の対応という視点も持って、**公立病院の経営を強化していくことが重要**。

第2 地方公共団体における公立病院経営強化プランの策定

- 策定期間 令和4年度又は令和5年度中に策定
- プランの期間 策定年度又はその次年度～令和9年度を標準
- プランの内容 **持続可能な地域医療提供体制を確保**するため、地域の実情を踏まえつつ、必要な**経営強化の取組**を記載

公立病院経営強化プランの内容

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- ・ 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- ・ **機能分化・連携強化**

各公立病院の役割・機能を明確化・最適化し、連携を強化。
特に、地域において中核的医療を行う基幹病院に急性期機能を集約して医師・看護師等を確保し、基幹病院以外の病院等は回復期機能・初期救急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、連携を強化することが重要。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ **医師・看護師等の確保**（特に、不採算地区病院等への医師派遣を強化）
- ・ 医師の**働き方改革**への対応

(3) 経営形態の見直し

(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

(5) 施設・設備の最適化

- ・ 施設・設備の適正管理と整備費の抑制
- ・ デジタル化への対応

(6) 経営の効率化等

- ・ 経営指標に係る数値目標

第3 都道府県の役割・責任の強化

- 都道府県が、市町村のプラン策定や公立病院の施設の新設・建替等にあたり、地域医療構想との整合性等について積極的に助言。
- 医療資源が比較的充実した**都道府県立病院等が、中小規模の公立病院等との連携・支援を強化**していくことが重要。

第4 経営強化プランの策定・点検・評価・公表

- 病院事業担当部局だけでなく、企画・財政担当部局や医療政策担当部局など関係部局が連携して策定。関係者と丁寧に意見交換するとともに、策定段階から議会、住民に適切に説明。
- 概ね年1回以上点検・評価を行い、その結果を公表するとともに、必要に応じ、プランを改定。

第5 財政措置

- **機能分化・連携強化**に伴う施設整備等に係る病院事業債（特別分）や**医師派遣**に係る特別交付税措置を**拡充**。

【参考】「公立病院経営強化プラン」の主なポイント

令和4年4月20日開催公立病院経営強化ガイドライン等に関する説明会 資料1 抜粋

公立病院経営強化プランの内容

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- ・ 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- ・ **機能分化・連携強化**

各公立病院の役割・機能を明確化・最適化し、連携を強化。特に、地域において中核的医療を行う基幹病院に急性期機能を集約して医師・看護師等を確保し、基幹病院以外の病院等は回復期機能・初期救急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、連携を強化することが重要。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ **医師・看護師等の確保**（特に、不採算地区病院等への医師派遣を強化）
- ・ 医師の**働き方改革**への対応

(3) 経営形態の見直し

(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

(5) 施設・設備の最適化

- ・ 施設・設備の適正管理と整備費の抑制
- ・ デジタル化への対応

(6) 経営の効率化等

- ・ 経営指標に係る数値目標

ポイント

- 第8次医療計画の記載事項として「新興感染症等の感染拡大時の医療」が加わることも踏まえ、**新たに記載事項に追加。**

【平時からの取組の具体例】

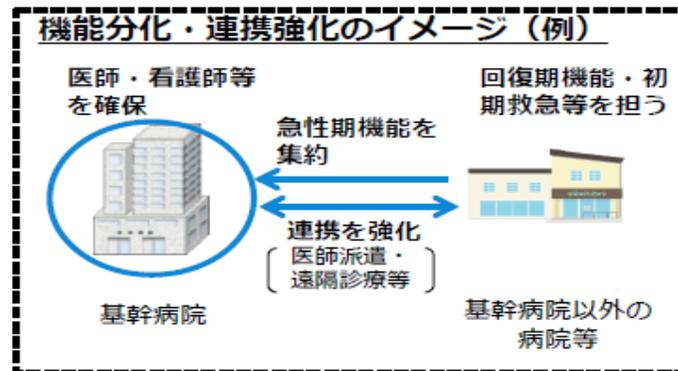
- ・ 感染拡大時に活用しやすい病床等の整備
- ・ 各医療機関の間での連携・役割分担の明確化
- ・ 専門人材の確保・育成

ポイント

- 前ガイドラインでは「改革」プランという名称だが、**持続可能な地域医療提供体制の確保のための「経営強化」**に主眼を置き、「経営強化」プランとした。

ポイント

- 前ガイドラインの「再編・ネットワーク化」に代わる記載事項。「再編・ネットワーク化」と比べ、**病院や経営主体の統合よりも、病院間の役割分担と連携強化に主眼。**



ポイント

- **医師・看護師等の不足**に加え、**医師の時間外労働規制への対応**も迫られることも踏まえ、**新たに記載事項に追加。**

【具体的な記載事項】

- ・ 基幹病院から中小病院等への積極的な医師・看護師等の派遣
- ・ 若手医師の確保に向けたスキルアップを図るための環境整備（研修プログラムの充実、指導医の確保等）
- ・ 医師の時間外労働の縮減の取組（タスクシフト/シェア、ICT活用等）

2 地域医療構想等との整合性を図る際の視点

公立病院経営強化プランの内容

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- 機能分化・連携強化

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

- 医師・看護師等の確保
- 医師の働き方改革への対応

(3) 経営形態の見直し

(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

(5) 施設・設備の最適化

- 施設、設備の適正管理と整備費の抑制
- デジタル化への対応

(6) 経営の効率化等

【ご意見いただく内容】

公立病院経営強化プランの内容のうち**地域医療構想等との整合性**に関連する(1)、(2)、(4)、(5)の記載について、本会議で意見聴取させていただく。

<整合性を図る際の視点>

→ これまでの地域での協議内容と乖離がないか

→ 地域で求められる役割、機能、取組みとなっているか など

【参考】 県内の公立20病院

区域	病院名	区域	病院名
横浜	横浜市民病院	横・三	市民病院
横浜	みなと赤十字病院	横・三	うわまち病院
横浜	脳卒中・神経脊椎センター	横・三	三浦市立病院
横浜	こども医療センター	湘南東部	藤沢市民病院
横浜	精神医療センター	湘南東部	茅ヶ崎市立病院
横浜	がんセンター	湘南西部	平塚市民病院
横浜	循環器呼吸器病センター	県央	厚木市立病院
川崎北部	多摩病院	県央	大和市立病院
川崎南部	井田病院	県西	小田原市立病院
川崎南部	川崎病院	県西	足柄上病院

【参考】現行の公的医療機関等2025プラン（抜粋）

川崎市立多摩病院

経営強化プラン
上の項目

現行の2025プラン等の記載内容

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
2025年見込み	376	0	364	0	12	0

(1)
役割・機能の
最適化と連携
の強化

- ・ 北部地域の中核病院として、小児救急を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、アレルギー医療などを提供
- ・ 災害拠点病院としての役割を担う。

【参考】現行の公的医療機関等2025プラン（抜粋）

川崎市立多摩病院

経営強化プラン
上の項目

現行の2025プラン等の記載内容

（４）
新興感染症～
の取組

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、一般病床の転換による専用病床の整備・拡充を行い、多数の中等症患者を受け入れ

（５）
施設・設備の
最適化

・FAX検査予約等による検査機器の共同利用による医療機関の機能分化の強化と連携を推進
・救急遠隔読影接続システムや地域の医療機関（医院・クリニック等）との地域連携システムを運用し、更なる連携を推進

3 該当公立病院の経営強化プランについて

※本資料では、各病院作成の経営強化プランの事前調査票の抜粋を掲載しています。

川崎市立多摩病院

地域医療構想との整合性

○ **地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能**

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
2020年実績	376	0	376	0	0	0
2025年見込み	376	0	364	0	12	0

→三次救急医療機関、特定機能病院との住み分けに課題がある。

○ **地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能**

・高齢化が進む川崎市北部医療圏の地域医療支援病院として、地域の患者さん、地域の医療・福祉施設と、密接に連携

○ **医師・看護師等の確保**

・タスクシフトおよび処遇改善

○ **医師の働き方改革への対応**

・医師事務作業補助者の業務拡大
 ・当直明けは極力昼までに帰るよう呼びかけ など

(1)
役割・機能の最適化と連携の強化

(2)
医師・看護師等の確保と働き方改革

○

○

○

○

3 該当公立病院の経営強化プランについて

※本資料では、各病院作成の経営強化プランの事前調査票の抜粋を掲載しています。

川崎市立多摩病院	地域医療構想との整合性
<p>(4) 新興感染症 ～の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保健所や近隣の医療施設との連携・情報共有を図るほか、訓練を実施 ・新興感染症の感染拡大状況に応じた病床確保や施設・設備の整備、検査体制の確保、日常的な感染対策活動の実施 ・感染防護具などの備蓄・整備
<p>(5) 施設・設備 の最適化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○施設、設備の適正管理 <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に施設、設備機器の更新を実施 ・施設や設備機器の長寿命化や更新などについては経営的な視点を持ちつつ、十分に検討を行い計画的に実施することにより、財政負担の軽減・平準化に取り組む。 ○デジタル化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード(薬歴情報、特定健診情報)との連携を実施する。 ・電子処方箋の導入を行う。 ・電子カルテシステム他連携システムを含め、セキュリティ対策の向上を行う。 ・RPAやチャットボットの導入を推進し医療従事者業務の軽減、タスクシェアを行う。

【参考】現行の公的医療機関等2025プラン（抜粋）

川崎市立井田病院

経営強化プラン
上の項目

現行の2025プラン等の記載内容

(1)
役割・機能の
最適化と連携
の強化

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
2025年見込み	343	8	290	45	0	0

- ・ 南部地域の中核病院・地域がん診療連携拠点病院として、増大するがん等の成人疾患医療、救急医療、緩和ケア医療を担う
- ・ 市内唯一の結核病床を有する病院として、結核患者への透析の対応も行う

【参考】現行の公的医療機関等2025プラン（抜粋）

川崎市立井田病院

経営強化プラン
上の項目

現行の2025プラン等の記載内容

(2)
医師・看護師
等の確保と働
き方改革

- ・臨床研修指定病院等として医師の育成を行うなど、地域医療水準の向上にも寄与

(4)
新興感染症～
の取組

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、県下最大規模となる92床の専用病床の整備・拡充を行い、多数の中等症患者を受け入れ

3 該当公立病院の経営強化プランについて

※本資料では、各病院作成の経営強化プランの事前調査票の抜粋を掲載しています。

川崎市立井田病院

地域医療構想との整合性

○地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
2020年実績	343	8	290	45	0	0
2025年見込み	343	8	290	45	0	0

→地域での二次救急医療体制の改善に課題があり、地域における救急当番制について協議

○地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

- ・急性期病院として地域のかかりつけ医や連携病院、高齢者施設、在宅からの患者さんを受け入れ
- ・治療が終了したら患者のかかりつけ医への逆紹介を推進

○機能分化・連携強化

- ・地域医療支援病院及び紹介受診重点医療機関の指定を目指し、地域連携部門の体制を強化し、地域医療機関とより連携しやすい環境づくりなどを検討
- ・二次救急当番制について、地域にある複数の病院、消防、行政で構成する病院連携会議で協議

(1)
役割・機能の最適化と連携の強化

○

○

○

3 該当公立病院の経営強化プランについて

※本資料では、各病院作成の経営強化プランの事前調査票の抜粋を掲載しています。

川崎市立井田病院		地域医療構想との整合性
(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ○医師・看護師等の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月からの医師の時間外労働規制に向けての体制整備 ・夜勤負担の偏在化解消に向けた看護師の確保 ・タスクシフトを推進するための薬剤師・臨床工学技士の確保など 	○
	<ul style="list-style-type: none"> ○医師の働き方改革への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・医師の自病院での労働時間の把握のための医師の労働時間管理システムの導入による適正な管理 ・病棟薬剤師や医師事務作業補助者の活用等による医師のタスクシフティングなど 	○
(4) 新興感染症への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新興感染症の感染拡大状況に応じた円滑な病床体制の増強・確保に向けた準備 ・新興感染症患者の受入を想定した病室の個室化 ・専門人材の確保・育成 ・感染防護具等の備蓄 	○

3 該当公立病院の経営強化プランについて

※本資料では、各病院作成の経営強化プランの事前調査票の抜粋を掲載しています。

川崎市立井田病院

地域医療構想との整合性

(5) 施設・設備の最適化

○施設、設備の適正管理

・病院施設や設備の長寿命化や更新などについて、収支シミュレーション等について十分に検討を行い計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化に取り組む。

○デジタル化への対応

・電子カルテの情報セキュリティの向上
・電子処方箋について取組を推進。
・医師の労働時間管理システムや、災害時の院内情報共有システムなど、新たなシステムの導入・有効活用により、業務の省力化、データの共有・有効活用を積極的に推進

○

※現行の2025プランには、具体の記載ないが、地域の医療機関との連携に資する取組みであることから「○」と整理

【参考】現行の公的医療機関等2025プラン（抜粋）

川崎市立川崎病院

経営強化プラン
上の項目

現行の2025プラン等の記載内容

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
（1） 役割・機能の 最適化と連携 の強化						
2025年見込み	663	56	607	0	0	0

- ・ 高度・特殊・急性期医療、救急医療を中心に、小児から成人・高齢者・妊産婦等の医療を提供するとともに、精神科救急医療の基幹病院としての機能も担う
- ・ 市内唯一の感染症病床における二類感染症患者の受入や、災害拠点病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院としての役割

【参考】現行の公的医療機関等2025プラン（抜粋）

川崎市立川崎病院

経営強化プラン
上の項目

現行の2025プラン等の記載内容

（２）
医師・看護師
等の確保と働
き方改革

・ 臨床研修指定病院として医師の育成を行うなど、地域医療水準の向上に寄与

（４）
新興感染症～
の取組

・ 新型コロナウイルス感染症対策では、主に重症患者を担い、県内最大規模の入院診療を実施

（５）
施設・設備の
最適化

・ 地域医療機関との患者の紹介・逆紹介を推進し、地域医療支援病院として、高度・特殊な医療を確実かつ効率的に提供できるよう努めると同時に、検査機器の共同利用を実施

3 該当公立病院の経営強化プランについて

※本資料では、各病院作成の経営強化プランの事前調査票の抜粋を掲載しています。

川崎市立川崎病院

地域医療構想との整合性

○地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
2020年実績	663	56	607	0	0	0
2025年見込み	663	56	607	0	0	0

→ガイドラインにおいて、機能分化・連携強化について十分な検討を行い、必要な取組の記載を要請する「(工)地域医療構想や今般の新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、病院間の役割分担と連携強化を検討することが必要である公立病院」への該当

○

○地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

・川崎市南部地域における高度急性期医療を担う基幹病院として、地域の医療ニーズに対し良質な急性期医療及び専門性の高い医療の提供。

○

○機能分化・連携強化

・関係病院間で合意済み

○

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

3 該当公立病院の経営強化プランについて

※本資料では、各病院作成の経営強化プランの事前調査票の抜粋を掲載しています。

川崎市立川崎病院		地域医療構想との整合性
(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革	<p>○医師・看護師等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年4月からの医師の時間外労働規制に向けての体制整備 夜勤負担の偏在化解消に向けた看護師の確保 タスクシフトを推進するための薬剤師・臨床工学技士の確保等 	○
	<p>○医師の働き方改革への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の自病院での労働時間の把握のための医師の労働時間管理システムの導入による適正な管理 医師事務作業補助者及び病棟薬剤師の採用 ビデオ通話による会議、電子カルテの自宅等からの遠隔閲覧の実施 地域連携を進め、紹介・逆紹介等、地域の診療所と役割分担 など 	○
(4) 新興感染症への取組	<ul style="list-style-type: none"> 発熱患者の隔離・専用動線の確保、入院前スクリーニング検査は継続する。 福祉施設の感染予防のための出張講座および施設内感染対策ラウンドを行い指導する。 新型インフルエンザ等の対策として検疫所との連携訓練を予定している。など 	○

3 該当公立病院の経営強化プランについて

※本資料では、各病院作成の経営強化プランの事前調査票の抜粋を掲載しています。

川崎市立川崎病院

地域医療構想との整合性

(5) 施設・設備 の最適化

○施設、設備の適正管理

・施設、設備の劣化状況調査を現在行っており、劣化部分を洗い出したうえで、効果的な修繕・長寿命化計画を今後策定し、整備費費用の負担平準化を図る。

○デジタル化への対応

・電子カルテの遠隔閲覧システムの活用を推進し、オンコール医とのやり取りや、地域医療機関との情報共有を行い、医療の質の向上に取り組む。
・オンライン診療及び電子処方箋への対応を検討する。
・文書作成システムの導入により診断書等の事務作業負担の軽減を行う。
など

○

※現行の2025プランには、具体の記載ないが、地域の医療機関との連携に資する取組みであることから「○」と整理

4 今後のスケジュール

時期	会議体	内容
令和5年8月頃	令和5年度第1回地域医療構想調整会議	経営強化プランの事前調査票による意見聴取



令和5年度末までに、病院事業を設置している各地方公共団体で経営強化プランを策定

説明は以上です。